

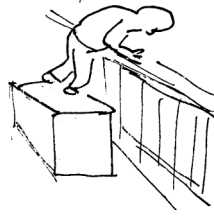


# 元いたずらっ子が考えた転落防止策

高層マンションのベランダから幼児が転落する事故が絶えない。ベランダの柵を乗り越えて転落するらしい。

## 乗り出して転落

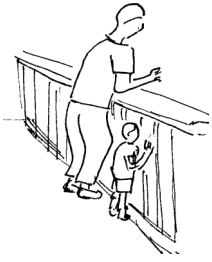
多分、箱か何かに乗って手摺から身を乗り出して転落したのだろう。



## どうしてそうするのか

普段、大人は少し身を乗り出して、周りや下を見ている。

しかし、大人のように外を見たいのに、ベラ



ランダの格子の間隙からでは下も左右も良く見えない。

一人でベランダに出るな、箱に乗るな・・・と云われれば、一人の時、こっそり箱に乗るのがいたずらっ子。

## 下も左右も見える様に

転落対策は、大人のように見えるようにすることではないか？格子の一部を球状に膨らませれば、そこから子供は周りも、下も自由に見られる。そこから落ちる心配はない。



こうして、子供の欲求を満たせば、転落の危険を避けることができるのではないかと皆さんはどう思われますか？

## 弘明寺駅前の居酒屋

横浜市南区



秋の夕陽は「つるべ落とし」六時過ぎると急に暗くなってくる。

そして、駅前の、戦後に建てられたような居酒屋に灯がともる。

店頭では焼き鳥の煙を道行く人に向けて吹き出す。

会社帰りの人々が、おいしそうな匂いに誘われ

「一杯やって行こうよ」

「いや、ちょっと」

「つきあえよ、一杯ぐらい良いだろう」

「しょうがないな・・・」

という会話が繰り返される。

誘いを断り、後ろ髪を引かれながら、家路に向かう人もいる。

「遅くなっちゃった

けど・・・来てるかな」

と暖簾の間からお店を覗く人・・・

二階では生ビールのジョッキで乾杯。

「追加注文は？」と聞こえてくる。